



大切にしたいもの



新潟県立村上高等学校
同窓会会長 丸山 文彦
(25回生)

この会報が届くのは、八月初旬。夏真っ盛りの頃である。夏の風物詩といえば花火、浴衣、かき氷、スイカ、蟬の鳴き声、蚊取り線香、風鈴等が思い浮かぶ。最近見られなくなったものもあるが。

日本の文化を風鈴文化、西洋をエアコン文化と評した人がいた。暑さをしのぐのに西洋人はエアコンで強制的に空気を冷却して送り出す方法をとる。これに対して日本人は気温ではなく、風鈴の音で涼しさを感じる方法をとるといふ。確かに風鈴の音色は、優しく涼やかで、聞くと者の心を穏やかにさせてくれる。

「梅一輪 一輪ほどの暖かさ」

梅の一輪の花が咲くことによって、わずかなが暖かさを感じるという意味だが、一輪の梅に春という季節を感じるといふ日本人ならではの感性だ。

この日本人特有の情緒性が生んだ価値判断が「なんとなく」といふ。「なんと

なく」とは、一種の雰囲気や空気のこと。科学的根拠も実態もない、とてもあいまいな心情だ。

最近ではIT化が進み、何でも物事を数量や数値で判断する時代になった。「幸せ」という個人的・感覚的なことにまで平均値や数字を持ち込み、比較判断するのは愚かに感じる。

知的でありながら情的な心を大切に生きる。そんな賢い生き方をしたい。

「桐一葉 落ちて天下の秋を知る」



令和7年度入学式

第75号

編集・発行

新潟県村上市田端町7番12号

村上高等学校内

新潟県立

村上高等学校同窓会

TEL080-7848-3494

メールアドレス

murakou-dousoukai@outlook.jp

印刷

村上印刷株式会社

秋には同窓会がある。集うことに楽しみがある。「なんとなく」楽しんでもらえれば幸いである。
十月二十六日(日) 大観荘でお待ちしております。

近況のご報告



新潟県立村上高等学校
学校長 菟森 茂樹

同窓の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対し、御理解と御支援を賜り感謝申し上げます。昨年度から引き続き村上高校で勤務できますことにあらためて感謝の思いを抱きながら、校務運営にあたっております。

令和七年度は、四月七日に始業式と入学式を挙行し、新たに一二〇名の新入生を迎えてスタートしました。今年度入学者選抜では、定員を超える志願があり、大変ありがたく感じています。これもひとえに同窓の皆様方の日頃からの継続的な御支援のお陰と感謝申し上げます。

さて、去る三月に新潟県教育委員会から「県立高校の将来構想」が公表されました。詳細は新潟県教育委員会のホームページに掲載されておりますので御覧いただければ幸いです。本構想は、教育を取り巻く社会の変化を踏まえ、少子化の中にあっても、生徒にとってより良い教育環境を提供し、選ばれる学校づくりを



旧校舎遠景 (昭和44年頃)

進め、十年後の県立高校のすがたを示すことを趣旨としています。基本方針の一つには、ICT等の諸技術を活用しながら遠隔教育や学校間連携、外部人材との連携を進め、高校の教育環境の充実を図ることを趣旨としたものがあります。本校においても、今年度新たに遠隔授業を実施することとなり、県内の山間地域の高校と結んで配信授業を行っております。

また、生徒募集に関しては村上市と連携して、令和八年度の入学者選抜から県外生が受検できるように準備をすすめているところです。本校はもとより魅力的な村上地域について多くの人に知っていただく契機したいと思います。引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

総会・懇親会を開催

令和六年度

6年10月26日(土) 大観荘せなみの湯

会場に笑顔があふれ、村高同窓生の絆を深めました



思いはひとつ



樋口 あかね
(33年生)

同窓会幹事の年がやってきました。やるからには、参加者のみならず幹事の私たちも楽しまなきゃね！という気持ちで臨んだ準備の年。さて、アトラクションで何をするか話し合う中で、同級生にはバスケットボール界の名監督である富樫英樹さんがいるから、ぜひトークショーをしようということになりました。

英樹さんは、バスケットをしたいから中学の体育の先生になるのだと言っていました。そして今では、日本を代表するほどの名監督です。国語の授業で作者の気持ちを問われた時、作者の気持ちは作者に聞かないと分からないと答えた英樹さん。ここまでくるには、相当の努力と苦悩と挑戦があったことでしょう。本人に聞いてみなければ分からないことです。

村高の大体育館で汗を流し、同じ教室で勉強した三年間。人生の通過点が同じだった人も、それぞれの場で大きく羽ばたいています。年代は違っても、村高で過ごした三年間は、それぞれの努力と苦悩と挑戦の日々だったことでしょう。

同窓会が集まり、お互いの近況報告をし合う時、皆さんは高校の頃と比べながら話を聞いていることでしょう。人生の土台をつくってくれた仲間や先輩、先生方に感謝し、この縁をずっと大切にしたいこうと改めて思うことができた同窓会でした。

令和7年度 **総会・懇親会案内**

振り返れば昨日のように、懐かしいひとときを

日時 **10月26日(日)**

◆受付 11:00～

◆役員会 11:20～

会場

瀬波温泉

露天風呂
大観荘

せなめの湯

TEL 0254-53-2131

総会  開 会 12:00~

令和6年度事業・会計報告
令和7年度事業・会計審議

懇親会

◆開 会 13:00~

◆会費 8,000円

当番幹事学年として



佐野 克弘 (さの かつひろ)

34 回生

同窓会の皆様には、平素より大変お世話になり誠にありがとうございます。本来なら実行委員長がご挨拶させて頂くべきところではありますが、新潟支部長も兼務しているため、代わりに副実行委員長であります私がご挨拶させていただきます。

高校を卒業してからとは同窓会総会には全く出席することなく過ごしておりましたが、当番幹事の前年は懇親会の最後に学年全員が壇上に上がって挨拶と万歳三唱をする任務があるということで、昨年初めて出席致しました。卒業してから初めて会う同級生も何人かいてとても懐かしく、42年の時の流れを改めて感慨深く見つめ直した次第です。

昨年の同窓会は諸事情が
 有ったとはいえ出席人数が10
 人に満たず、学年として存在
 感を示すことができませんで
 した。その反省を踏まえ、今
 年は早い時期から実行委員長
 を中心としてLINEで連絡
 を取り合い、また、定期的な



会合を開いて着々と準備を進めております。昨年から総会を12時に、懇親会を13時に開始することになったため、なるべく多くの方々に出席して頂けるよう、今年は初めて日曜日に開催させて頂くことになりました。

皆様の良い思い出になりま
すよう34回生一丸となり、精
一杯務めさせて頂きますので、
是非多数の方々にご出席を賜
りたく、宜しくお願い申し上
げます。

事務局長	監事	校内幹事	理事	常任理事	顧問	副会長	会長																														
小齋 杉	小藤	赤坂 海保	本佐 藤	山崎 中	田中 栗	石井 藤	伊藤 貝	須藤 浩	高橋 初	大木 俊	大松 洋	大高 むつ	佐野 弘	山田 裕美	長郷 直美	高橋 睦	渡邊 公紀	寺門 美子	佐藤 博	渡田 昌	山田 春	佐藤 之	大井 千代	野澤 健一	佐藤 裕美	伴田 史子	五十嵐 恵美	萱森 樹	瀬賀 弘行	五十嵐 正弥	村山 誠	圓山 子	文 堯				
和直也	和久行	浩一	堅一	正一	理一	明一	史三	雄三	昇彦	敏平	寿み	弘美	文美	美雄	紀子	博昌	春之	美一	子宏	子樹	宏子	樹行	弘正	正弥	誠子	子堯	文 堯										
(32回生)	(37回生)	(36回生)	(33回生)	(事務局長)	(教諭)	(教頭)	(34回生)	(33回生)	(33回生)	(26回生)	(24回生)	(24回生)	(16回生)	(35回生)	(35回生)	(35回生)	(34回生)	(34回生)	(34回生)	(34回生)	(34回生)	(33回生)	(33回生)	(33回生)	(32回生)	(32回生)	(32回生)	(32回生)	(31回生)	(30回生)	(30回生)	(学校長)	(27回生)	(32回生)	(31回生)	(27回生)	(25回生)

役員名簿

同窓会支部だより



関東支部

高橋 初雄 (24回生)
四街道市在住

高橋 初雄 (24回生)

同窓の皆様、如何お過ごしでしたでしょうか。
支部活動の一端をこの場を借りてご報告したいと思います。

○支部会員数は主に関東地区にお住まいの約2200名。○会報誌「村高」本年四月発行、送付約2200部(因みに今号は第三六号)。一読されたい方は、事務局あてご請求ください。○イベントの開催、本年一月に、大先輩御歳九十三歳の杉本孝一郎氏の講演会、表題「空襲と疎開・東京から関川村・村上町へ」を開催致しました。ご参加頂いた方々から「戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に繋げていきたい。」この一点で精力的に活動されている姿に感銘を受けたとの言葉を頂いております。○歴史散策の会、昨年十一月、寅さんで馴染みの「柴又帝釈天」界隈を散策致しました。○臥牛会(ゴルフ)コンペ開催(年2回開催)。○H.P.の運営管理。○関東支部総会「同窓の集い」の開催、多数ご出席を賜りました。特に今回は昨年の総会でいろいろなご意見を伺い、ご意見に出来るだけ沿った懇親会を中心にした盛大な会となりました(六月七日開催)。



会員の皆さま方におかれましては、同窓会活動に積極的に参加して頂くよう是非お願い致します。

最後にになりましたが、会員の皆さまの

弥栄とご健康を祈念

すると共に今後も支

部活動への応援を引

き続き、よろしくお

願致します。



関西支部

増井 清 (17回生)
富田林市在住

増井 清 (17回生)

4月13日に大阪万博が開催され、連日大いに賑わっています。各国パビリオンの外観と内容は魅力的で、大屋根リングは世界最大の木造建築物としてギネス世界記録に認定されその風景は圧巻です。

関西支部総会は5月31日(土)にがんこ寿司梅田本店で、大滝村上市副市長、小杉同窓会本部事務局長のご参加を頂き、21名で開催されました。

ご来賓の方々から、村上市の行政取り組み状況や村高の活動状況などのお話、会員の自己紹介、抽選会などで大いに盛り上がり、校歌斉唱でお開きとなりました。

又、須貝浩三さん(24回生)が満場一致で新支部長に選出されましたことをご報告させて頂きます。会員皆様のご健勝を願い、来年の総会を楽しみにしています。



新潟支部

山崎 理 (34回生)
(新潟市江南区在住)

山崎 理 (34回生)

令和6年度新潟支部総会は11月2日(土)アトホテル新潟駅前で開催され、萱森茂樹校長、圓山文堯同窓会長、高橋初雄関東支部長の御出席をいただき、総勢24名が懇親を深めました。会の冒頭、「能登半島地震と新潟の液化化」と題し、同窓生の堀田亨さん(28回生・支部事務局長)から講演をいただきました。また、役員(敬称略。数字は卒業期)として、昨年から続く支部長山崎、事務局長堀田に加え、副支部長佐藤英世(33)、役員幹事山田亘(33)、石垣修(34)、伊藤達朗(34)、藤井操(34)が選出されました。



さて、「新潟支部」は主に新潟市周辺の同窓生を中心に活動していますが、あえて境界は設けません。役員の多くは支部長と同期の34回生ですが、今年の本校同窓会幹事学年でもあります。また、支部総会は11月29日(土)開催予定です。詳しくは新潟支部HP [https://murakou.com/niigata/index.html] をご覧ください。

本校同窓会と併せ、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。



新発田支部

大滝 昇 (16回生)
新発田市在住

大滝 昇 (16回生)

昨年は、5年ぶりの新発田支部総会を開催できました。振り返ると新型コロナウイルス感染症の悪影響は、小さな支部組織にとつて長いトンネルとともに組織の弱体化を招いたのです。今まで会を支えてくれた大事なメンバーの九名の方々が休会の間に次々と天国に旅立ったのです(合掌)。幸いに、若い人達数人の入会もあり解散の危機を免れ、令和7年の6月7日に総会・講演会・懇親会を開催することができました(感謝)。今年度の課題は、組織強化のための会員増と若返りそして、何より楽しく息の長い会の運営に取り組むことを確認しました。是非、新発田市在住及び近隣にお住まいの同窓の皆様の入会をお待ちしています。秋には「蔵春閣」の見学会や粟島一泊旅行を企画しております。





関川支部

伊藤 保史 (26回生)
下関在住

関川支部では令和六年度の総会を高瀬温泉高橋屋観山荘で三月二日に開催しました。本部の圓山会長、小杉事務局長から来賓としてご祝辞・本校情勢報告を戴き、その中で圓山会長より「このように年一回村高同窓生が顔を合わせ意見を交換することは貴重であり続けてもらいたい」との主旨の言葉を戴き、今後の支部活動に力を与えて戴きました。

今回は来賓以外に十一名の出席でしたが、新メンバーとして津野関川村新教育長、関東支部で活躍し関川村に帰村した河村栄一さんに加わってもらい新味のある会合となりました。来年以降もメンバーを増やし楽しい意見交換の場としたいです。

同窓の皆様
さまのご参加を心より
お待ちしております。
宜しくお願
いします。



仙台支部

田中 悌一 (33回生)
仙台市太白区在住

仙台支部は昨年12月8日に支部総会と懇親会を開催しました。会員5名の出席で本部から圓山会長をお迎えし、母校の現況や村上の話題で楽しいひと時を過ごしました。その際支部の参加者を増やし盛り上げるにはどうすべきか意見交換が行われ、例えば初めて参加する同窓生は初回懇親会費を無料にするご意見もあり、次回の支部総会に向けた検討課題となりました。また、今回の支部総会では本間支部長が退任され、後任は私が務めることとなりました。

話は変わり、村上フェアin仙台が仙台駅で催されることがあり、塩引鮭や日本酒、岩船産コシヒカリが人気です。村上出身者

にはうれ
し、なつ
かしです
が、今年
は美味し
いお米の
値段が気
になります。



群馬支部

遠山 秋男 (21回生)
前橋市在住

群馬支部はコロナ禍後総会ならび行事等なく、支部長より原稿作成依頼があり書かせていただきます。

岩船郡神林村出身75才の後期高齢者で前橋市に妻と二人で穏やかに暮らしています。実家は農家なので年二回美味しい米を貰いに里帰りし田舎が有る喜びを感じています。高校卒業後は横浜の大学で学生運動激しい多感の時を過ごしその後、新潟の銀行に勤め高崎、前橋、太田、三条、長野、大宮と6回の転勤をしバブル全盛期の39才で退職しオートバイの「レッドバロン群馬」のフランチャイズとなりました。元々オートバイが好きで好きな事で仕事ができばと思いつく一大決心をしました。60才でフランチャイズを清算し「バイクスタジオ遠山」を立上げ現在に至っています。

人生100年時代好きな事を一生の仕事として
できる喜び
を感じて楽
しく日々過
ごしていま
す。群馬支
部の活動再
開を楽しみ
にしております。



瀬賀 医院

院長 瀬賀 弘行 (27回生)

〒958-0003 村上市吉浦 3060-8

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 1:30~ 6:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日 日曜・祝日・木曜午後・土曜午後

TEL 58-2220 FAX 58-2225



きむら内科クリニック
Kimura Internal Medicine Clinic

院長 木村 新平 (48回生)

〒958-0857
新潟県村上市飯野 3-16-5
TEL. 0254-75-8500

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
午後	14:30~18:00	●	●	●	●	●	●
※消化器内科の診療時間は 9:30~12:30							

休診日 月 水 土 日 祝日
水曜午後・土曜午後・日曜・祝日



新潟県 瀬波温泉 海の彩り 夕陽の季節 ——
露天風呂
大観荘
せなみの湯

代表取締役社長 佐藤 久也
(14回生)

TEL. 0254-53-2131(代)

寄稿

AIと共に生きる時代に

佐藤 英世 (33回生)



村高同窓会から「同窓の訪れ」の原稿を依頼されたが、内容についてはお任せということだったので、長年、大学教員として教育・研究に携わってきた者として、今、感じていることを率直に書いてみたい。

最近、教育・研究の現場で、「生成AI（以下、AI）」の登場が、これまでになく大きな変化の波となつて押し寄せているのを実感している。インターネットの普及は、情報の流通と人々の暮らしを一変させた。しかし、AIがもたらすインパクトはそれすらも凌ぐのではないかと感じている。AIが初めて世に登場してから、まだわずか数年だが、その進化の速度はすさまじく、まさに「日進月歩」どころか「時進日歩」とでも言うべき勢いで今なお進化を遂げており、我々人間の思考や創造の営みの根幹に迫る変化が起きつつある。なぜなら、AIは情報の「伝達」だけでなく、「創造」の領域にまで踏み込んできたからである。

大学でも、学生がレポートの下書きにAIを使い、教員は講義資料や書類作成にAIの力を借りる場面が増えている。研究においても、文献整理や論文作成補助はもちろんだ、アイデアの種を広げ、研究の進め方や構成を援助してくれるなど、AIはもはや単なる道具を超えた「共同研究者」的な存在になっている。教育・研究の現場において、AIをいかに使いこなせるかが成果

に直結するような時代になりつつあると感じる。ただ、それを使う側の力量に応じてその性能が違ってくるようである。AIを使いこなすには、人間の側に深い理解力や批判的思考が不可欠である。

AIは非常に便利である一方で、安易に頼りすぎれば、自分で考える力や他者對話する機会を失ってしまう危険もある。AIに丸投げするのではなく、常に自分の頭で考え、AIと切磋琢磨しながら自分の能力を高めることがAIを使いこなすことにつながるのだろう。

我々の高校時代には夢にも思わなかったAIの時代の中で、母校で学ぶ後輩たちのようなこれからの若い世代が、よりよい社会の実現に貢献してくれることを期待したいと思う。そしてその時、AIを駆使しつつも、常に自分の頭で考えることを忘れないでいてほしいと願っている。

新潟市在住の村高同窓生との飲み会



会の実現に貢献してくれることを期待したいと思う。そしてその時、AIを駆使しつつも、常に自分の頭で考えることを忘れないでいてほしいと願っている。

【略歴】

1981年3月 村上高等学校卒 (33回生)
1985年 筑波大学卒
1991年 筑波大学大学院修了
1994年 ロンドン大学博士研究員
1996年 筑波大学講師
2003年 山形大学助教授
2010年 山形大学教授
2014年 新潟大学教授
現在に至る

村上で感じた「ワクワク」

伝え手の原点に

矢田 美沙希 (67回生)



アナウンサーやキャスターは、世の中の動きにアンテナを張り、幅広い物事に関心を持ってなければいけません。その為の基礎を高校時代の3年間で培うことが出来ました。例えば、1年生の時に遠足で訪れたイヨボヤ会館で、村上が鯉の町として発展してきた歴史を学びました。そこで、村上では単に鯉が良く獲れたということだけでなく、継続的に鯉漁ができる仕組みを作ったり余すことなく鯉を料理したりしてきた説明を聞きました。鯉を大切にしてきた村上の人たちの精神が今も受け継がれていることに感動しました。そんな今まで知らなかったふるさと的一面を知った時「誰かに話したい、共有したい」という気持ちが湧き出してきました。その時のワクワクした気持ちを今でも大切にしています。

わっている人はおらず、同級生に「冗談だろう」と笑われたこともありましたが、当時の担任の先生は私の話を真剣に聞き、夢を叶える為の道筋を一緒に考えてくれました。その時サポートしてくれた先生方のおかげで、諦めずに夢を叶えることが出来ました。本当に感謝しています。そして今、新潟でふるさととの情報を伝えられることに、とてもやりがいを感じています。これからも、村上はもちろん新潟の今を伝えている様で知らないことや、新潟の今を伝えたいと思っています。是非、平日の夕方、6時10分から放送の「新潟ニュース610」でお会いしましょう。



【略歴】

村上高等学校2015年卒業
大学在学中から、新潟市内の芸能事務所に所属し、ラジオパーソナリティやイベント司会などで活躍
2018年からNHK広島放送局で、昼前の番組のキャスターなどを担当
2021年からNHK大阪放送局で、夕方のニュース番組のリポーターやキャスターを担当
2024年からNHK新潟放送局で、夕方のニュース番組のキャスターを担当
NHK新潟放送局 契約キャスター

母校だより

村上高校の現況



教頭 佐藤 一正
さとう かずまさ

村上高等学校同窓会の皆様におかれましては、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。この四月に、歴史と伝統のある村上高等学校に教頭として着任いたしました。微力ではありますが、本校の更なる発展のために尽力する所存ですので、よろしくお願いいたします。

さて、この三月に一一三名の生徒が卒業し、それぞれの進路に旅立つとともに、新たに同窓会員として加えていただきました。また、村上高校はここ数年定員割れが続いていましたが、令和七年度入学者選抜では募集定員を超える志願者があり、四月には一二〇名の新入生を迎え、令和七年度をスタートすることができました。ひとえに同窓の皆様のご支援とご協力のおかげと感謝申し上げます。

令和七年度も四ヶ月が過ぎ、村上高校の生徒は、変化の激しい社会に主体的に対応しながらも、日々力強く過ごしています。新型コロナウイルス感染症もほぼ落ち着き、生徒は学校行事や部活動を楽しみながら、各自の進路実現に向けて地道に学習に励んでいます。別稿「大学等合格状況」にも掲載しましたが、令和六



年度卒業生の四年制大学や短大への進学率が八〇％を超え、着実に実績を伸ばしています。また、部活動では、依然として加入率が高く、活気あふれる活動が行われる中、ソフトテニス部が北信越大会とインターハイの出場権を獲得しました。この粘り強さは、村上高校で諸先輩方から綿々と受け継がれてきている「質実剛健」「堅忍不拔」の精神によるものであり、村上高校の伝統の重さをひしひしと感じています。

村上高校の生徒それぞれが思い描く未来の実現のため、教職員一同、全力で支援して参りますので、同窓会の皆様におかれましても、今後とも相変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



体育祭（6月12日開催）

大学等合格状況

◆国公立大学17名◆

新潟大学（5）、新潟県立大学（4）、三条市立大学（3）、新潟県立看護大学、上越教育大学、会津大学、

前橋工科大学、長野県立大学（各1）

◆私立大学121名◆

明治大学（2）、青山学院大学（1）、東京理科大学（1）、日本大学（6）、駒澤大学（2）、東洋大学（1）、新潟薬科大学（4）、新潟青陵大学（6）、新潟医療福祉大学（23）他

◆短期大学8名◆

山形県立米沢短期大学（2）、新潟青陵大学短期大学部（5）、新潟工業短期大学（1）

◆専門学校19名◆

看護リハビリ新潟保健医療専門学校（1）、国際メディカル専門学校（1）、新潟医療福祉カレッジ（1）他

◆就職4名◆

公務員（2）
民間就職（2）

主な大会結果

令和7年度新潟県高等学校総合体育大会

◎ソフトテニス部

女子団体3位（北信越大会出場）

女子個人2位

（全国高校総体、北信越大会出場）

小湊 桜子 森 心温 組

女子個人ベスト16（北信越大会出場）

高橋 莉理 脇野 想菜 組

◎少林寺拳法

女子組演武1位

（全国高校総体、北信越大会出場）

横井 小春、横井 小雪 組

ソフトテニス部

灼熱の二年間、三年の意地

三年生 小湊 桜子



この二年間は毎夏インターハイに出場しても、正解を求めてひたすらもがいた、灼熱の二年間でした。今年の県総体は昨年までと違い、立ち向かってくる下級生を相手に厳しい戦いが待っています。しかしそこで守りには入りません。三年生として絶対に負けられない意地と気迫を見せつけて、悔いなく攻めのテニスをし、山口の大舞台で有終の美を飾れるように頑張ります。

芸術・文芸部

漫画研究班

大きなキャンバスを彩る

二年生 渡辺 璃夏



私は部活動で、マスコット制作に力を入れました。その中で原色を元に絵の具を調合して色を作るという作業が最も難しく、また出来た色が翌日には固まってしまふ為手早く塗る事が必要で、マイペースな私にはとても大変でした。仲間達と協力して作り上げたマスコットは素晴らしい、体育祭は更に盛り上がったと思います。来年も皆でより良いものを作り上げ、心に残る体育祭にしたいと思います。

令和6年度 会費納入者名簿

会費納入者のお名前を掲載いたしました。

本会運営へのご理解ご協力に対する御礼に代えさせていただきます。

※令和6年6月11日から
7年6月10日着分まで
掲載。

[illegible]

稻葉	伊藤	石田	五十嵐	全8	山脇	水野	檜山	林口	野浜	長田	永橋	徳木	鈴藤	佐藤	坂野	齋藤	久保	木村	金原	笠原	板垣	全7	本間	樋口	中外	菅門	須原	佐貝	斎藤	小松	小葉	加藤	大平	岩澤	泉原	相澤	全6	渡辺	湯浅	宗村	本間
れい	茂孝	守洋	雄		弘晴	ヨウ	節子	甚一郎	賢司	重誠	時男	純一	洋子			一義	保弘	美恵子	順子	研				郁子	雄明		誠功	誠司	和衛	豊成	義人		悦穂	正子	富子	節子			慶晋	承子	藤久

山	八藤三丸本平中富長菅佐小工小上石五十安	全9	涌山山八諸丸前本藤野中中滝佐佐佐熊川片小小大内	
田	後浦山間井束檜井藤杉藤川山川風斎		井崎口後橋山田間野口山野沢藤藤藤田嶋岡野田滝山	
	栄誠正俊栄準健雪恵泰道采金孝孝		秀捷剛六二美秀サ智菊武長夕彊泰ユミ修健弥一	
			貢祐治勲英雄稔子司二子子則子子繁治雄	武雄平輔朗生彪隆男イ恵子栄司平エ介彦昇昇吉一郎也

[illegible]

坪山	田中	清水	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐々木	小山倉	熊島	大田	薄田	伊与部	伊藤	青海	青柳	全 12	渡邊	山村	町田	藤田	樋口	花井	高橋	相馬	瀬賀	菅原	菅原	下野	佐藤	佐藤	斎藤	近藤	久住	菊池	川村	川名	加藤	片野	片岡	貝沼
美智子	喜一	郁弘	由弘	みはる	英昭	正次	紘一	久子	良子	勲	信三	儀彦	道治	勝治	美恵子	是清		イサ子	和彦	英彦	征司	正宏	義嗣	正義	昭子	敏子	圭吾	敏子	玲子	正也	千代東	公一	明雄	邦子	晴彦	光操					

谷口ミサヲ	高橋翼	鈴木敏	須貝倫	須貝嘉	陣谷良	佐藤建	佐藤忠	佐藤妙	佐藤寛	斎藤一	斎藤テ	斎藤醇	児嶋純	倉松紀	木村義	河内一	加藤邦	加藤幹	勝見悦	風間幸	小野祐	岡本良	岡本光	内山克	伊藤沼	飯沼与三	飯島強	全13	渡辺慶	吉村志	森川夫	丸山隆	本間フク子	船山弘之	藤崎信子	藤崎信子	平山進	原智恵子	服部裕二	長谷川一
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	------	------	------	-----	------	------	------

細野俊勳	藤田英彦	野口山鶴	鳥山直子	土肥昭栄	長田敏治	高橋辰重	高橋松明	重佐藤久	佐佐藤勝	佐藤健	斎藤紘	斎藤秋	黒岩義綾	国井野子	片野屋昭	笠外子	小落合	小田野	上野フミ	伊藤源一	伊藤明治	板垣	全14	渡辺輝男	渡辺貫和	渡辺部	吉田シズ子	山脇和子	山田シヅ子	宮尾直樹	三浦比左夫	前田洋二	藤川忠男	平田忠実	西山忠雄	中村ヒロ	中村昇一	中田正子	中田強
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	----	-----	------	------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-----

森田	武藤	明前	松山	松田	松澤	本間	林部	林倉	沼田	成島	中邦	中明	藤村	田村	田中	田中	高柴	角替	鈴木	齋藤	小林	上村	小田	太田	上垣	岩谷	伊藤	板垣	五十嵐	秋山	青山	全15	米野	村山	村山	松永	益田	益田	本間			
キ	ト	子	一	彦	彬	正	大	雄	三	郎	美	茂	子	明	志	隆	口	漣	義	キ	益	啓	澄	麗	孝	勝	ル	恵	美	満	ト		忠	澄	光	紀	孝	コ	純	英	昭	美
ト	子	一	彦	彬	正	大	雄	三	郎	美	茂	子	明	志	隆	口	漣	義	キ	益	啓	澄	麗	孝	勝	ル	恵	美	満	ト	忠		澄	光	紀	孝	コ	純	英	昭	美	
ト	子	一	彦	彬	正	大	雄	三	郎	美	茂	子	明	志	隆	口	漣	義	キ	益	啓	澄	麗	孝	勝	ル	恵	美	満	ト	忠		澄	光	紀	孝	コ	純	英	昭	美	

渡辺美和	渡部新衛	山部英夫	矢部弘司	森井香代子	茂原行男	宮尾敏夫	本間準二	平山保男	二宮照樹	奈良茂樹	中村順治	忠沢裕弘	滝部好愈	園部章人	鈴木井	菅井雅弘	佐藤守弘	佐藤庄平	齐藤美裕	川上宮子	河内テイ子	蟹井藤	加藤登敏	貝沼敏子	小田朋雄	大野久昇	大滝稔	大石稔	伊部徳子	石川淑夫	五十嵐松麤	阿部万亀子	明間智子	渡辺美智子	渡辺一弘	吉田佑典	山本桂子	森田富夫
------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	-----	-----	------	------	-------	-------	------	-------	------	------	------	------

青塚	東	阿部	阿部	五十嵐	五十嵐	五十嵐	植村	内山	大澤	大島	小田	小田	榎取	金谷	川島	菊谷	木村	日下	久津美	栗山	小池	斉藤	斎藤	佐々木	佐藤	佐藤	佐藤	菅原	菅原	鈴木	鈴木	相馬	相馬	竹内	田沢	田嶋	田所	摩
優子	三十鈴	恵子	憲三	弘子	彌一	睦一	由美子	尚志	裕雄	文雄	サダ子	佐敏	英子	法子	也子	きぬ子	ミサ子	正平	縫子	信義	千恵子	憲夫	信政	節子	昌子	美和子	浩平	茂生	雅之	ミイ子	エイ子	襄士	弘美	貞子	一子	建子		

小田勝與	大場七ツ	大滝八重子	大島洋介	大島睦子	大島幸男	今井ゆみ子	稲葉美弥子	伊東たみ	板垣重之	石栗千恵子	飯島久	阿部美佐子	阿部元	全18	渡辺伸栄	山本秀明	山本宏平	山田稔実	山田喜美子	森屋和子	森田千代子	村山誠	村田栄輔	宮本久美子	宮本絢子	美濃貞二	南科公隆	三崎禮三	松本紀雄	松本順子	増井清吉	本間松明	本間千代子	別府里津子	伴友茂	長谷川ヨリ子	奈良橋寿栄	富樫芳次	遠山和子
八藤後和春	村山喜志	松永良彦	益田茂彦	本間陽子	本間テイ子	平山謙	兵動ますみ	野村吉夫	成田景忍	長山悌一	中田恵美子	徳留幸子	津野ヨ子	田辺孝子	只木敏子	田澤敏子	竹内栄美子	竹内敏子	高橋繁夫	高橋俊次	高瀬秀雄	瀬賀恵次	鈴木京子	須貝洋一	小澤みづ	坂井良平	斎藤周平	斎藤幸一	斎藤朝夫	近藤紗智子	小堀栄子	小玉順子	川嶋信男	金田昭子	加藤英子	笠原タマ	小笠原友弥		
鳥屋拓実	遠山幸夫	種部恵一	滝波繁實	高橋実夫	鈴木実夫	鈴木初雄	菅井小夜子	菅井良一	佐藤美和	佐藤正治	佐藤栄三	齋藤中敏	近藤眞人	兄玉二郎	小池香	木村茂廣	川村陽子	金子治郎	加藤泰三	小野むつ子	尾木由起子	奥村良作	小川千津子	岡田吉枝	遠藤ミヤコ	井上静子	磯部ゆうこ	飯沼和男	阿部愛子	秋山芳行	全19	渡辺幹雄	渡邊まり子	米山はるみ	横山貞三	山口正彦			
大沼清英	大沼典雄	大沼高廣	井上政彦	井上悦子	板垣廣喜	板垣英和	池田敏郎	五十嵐敏郎	荒木晃道	阿部美保子	阿部周子	浅野章子	明野恵美子	青山惠子	全20	渡部洋子	渡辺美恵子	渡辺史久	渡辺融	若林さと	吉村澄子	横井俊明	横井忠男	山本治郎	安富成良	安沢孝太郎	茂原孝太郎	村山みち子	美濃部千恵子	早川恒雄	服部恒雄	長谷川充雄	野沢英夫	野口正玄	丹羽久仁子	名取和夫	中山富美子		
西川正	新沼たず子	奈良橋ふみ子	奈良橋静江	長柄富志子	中山加和子	中山みな子	富野竹子	富野芳子	富野茂	寺井ムツ子	高橋久雄	高橋賢一	高橋慶一	相馬康雄	鈴木陽二	鈴木忠男	須貝秋二	東海林四郎	志田方直	佐藤文英	佐藤英明	佐藤啓三	祥雲満雄	斎藤里実	小倉正勝	倉米ミイ子	久米正	楠田正	木ノ瀬豊	川崎幹子	勝山逸雄	片桐裕博	尾崎克子	尾崎啓子	小笠原治夫	小笠原卓	大屋良子		
川上幸男	川内吉郎	上村正子	鎌田正猛	片野たみ子	恩田幸子	小野知恵子	小田午一郎	小川幸子	小川みさ子	岡見繁雄	内山学	伊藤厚子	伊藤眞弓	市井義久	池田雅章	荒木琴美	全21	渡部紀美子	渡辺泰次	吉川京夫	横山誠三	山田泰吾	山田世津子	山貝すま子	矢内精子	森山薫	村山信行	松井澄子	益田廣正	本間安子	平山澄子	肥本久枝	羽深大三	長谷川修一	橋本由美子	沼本康雄			
小野雅康	奥村芳雄	大滝久夫	浦野重勝	飯沼正史	全22	和田壽久	渡辺ひろ子	渡辺千家	山崎美代子	山崎敏和	宮崎洋子	松田美栄子	本間悦也	本間五郎	萩原美津枝	野口秀子	中村修平	飛田芳治	田村彰子	谷口順子	滝波恵次	瀧澤和香子	瀧澤由美子	鈴木江二	鈴木正道	清水信幸	清水恵美子	嶋田則裕	佐藤幸夫	佐藤直博	佐藤明子	近藤伊織	小島つや子	小島英子	木村三雄				
木村春夫	川村公子	河内恵夫	加藤和明	加藤正二	小大場茂也	大板克巳	板垣徳伸	池田久美子	青野倫子	全23	山口又一郎	森和子	森幸江	持田弘	村山直弘	美濃忠三	本間紀也	本間直彦	中野正美	中野たつみ	中野喜久雄	遠山英治	竹内智衛	滝波恵子	高野美智子	鈴木美智子	菅原義栄	澁谷裕博	佐藤由美子	櫻井大治	斉藤隆	近藤正和	小林盛巳	川上正文	川上篤子	小野衛			
中東松次	遠山満	田口美	高橋保男	高橋初雄	高橋重実	高橋健志	佐藤与一	佐藤升治	近藤富晃	工藤三策	勝見賢昭	小田祐子	上田文雄	五十嵐正人	阿部正人	全24	渡辺善幸	渡辺次夫	山田宏夫	八藤克明	美野明子	三國洋子	細谷文弘	広井美知子	南雲博志	富樫千恵子	長柄一男	高橋敦子	相馬登喜男	鈴木恒	佐藤和行	佐藤トミ子	佐藤かつえ	桜井直夫	佐藤博ミ	斎藤ユミ	小谷太一郎	黒羽睦美	
鈴木久	菅原美智子	菅原敏一	菅原与志明	須貝晋彦	小井行彦	東海林孝子	佐藤修一	佐藤さよ子	佐藤強平	佐藤和明	佐久間成一	坂井由美子	齋藤祐一郎	齋藤喜則	近藤美津子	小松勝吉	工藤昭規	木村三男	木村久美子	川村芳明	量山康子	小崎市郎	奥村直子	大滝豊郎	大滝一司	内藤滋	全25	渡辺聡	渡辺清	吉澤まり子	八幡孝子	柳本愛子	百武純子	松村厚清	本間清	西村陽子	七海美枝子	中村美	
小田兼人	小川寿幸	小川美佐子	大島晴美	大草宗元	稲葉妙史	伊藤保敏	板垣正子	石田厚夫	石田次夫	飯沼美奈子	飯沼典子	浅野謙一	全26	渡辺哲	渡辺欽也	吉田美和子	山崎純子	山崎ユリ子	矢部常紀	三浦みな子	丸山文堯	圓弘信	本間三喜雄	船山秀光	林野明	新柄知美	長柄勢津子	中田康之	富樫三夫	遠山栄聡	遠山早苗	忠田やよい	田中宏子	竹内恭子	竹内保雄	田川勝吾	高橋みどり	瀬賀木功	

[illegible]

木村直美	大瀧雅代	伊藤憲子	全46	渡邊正樹	本間祐史	富井明美	徳泉良子	土居志朗	高橋一哉	全45	三浦貴洋	馬場政彦	中山政勝	中山久司	佐藤聡浩	小田聡子	浮須敏章	伊與部洋	全44	伊藤泉	全43	天木聡	全44	渡邊保則	涌井陽子	吉田庸行	中村栄穂	田山清洋	田川淳理	鈴木さわり	鈴木禎明	斎藤敬久	近藤知子	榎睦子	全43	平山陽子	佐藤勝俊	國井敏文	木村なな子		
佐藤泰規	齋藤恵美子	全57	渡辺知佳	瀧澤裕太	佐藤くるみ	草薨瑛子	全56	齋藤康一	近藤優佑	全55	中村丈洋	酒井孝好	小林純一郎	全54	久保田嘉明	板垣雄三	全53	菅原秀和	佐藤雅子	小田隆	全52	小田陽介	稲葉和孝	市村寛子	全51	渡邊桃子	渡部拓也	鈴木賢太郎	全48	渡辺ひふ美	山田悟朗	藤井仁志	鈴木友洋	佐藤堅	全47	渡辺裕二	武藤誠	馬場直美	中山忠義	鈴木義	
平山智統	全73	押切陽菜	大竹薫	全72	木ノ瀬蒼人	青木恒平	全71	山賀恵美子	高橋真美	全69	押切優輝	渡邊友香	全67	高橋歩美	全66	小杉紗貴	全63	藤本唯	山賀洋和	全62	黄地貴子	全61	渡邊綾	増子美穂	佐藤陽子	全60	増子諒	細野和之	尾形彩乃	赤坂花	全59	渡邊卓	圓山優樹	長谷川伸太郎	高橋祐太郎	神田礼子	川村健太郎	飯沼奨悟	全58	矢部智弘	高橋美智
齋藤均	板垣悦子	定夜20	齋藤律子	川上登與次	板垣一夫	定夜19	稲葉久美子	定夜18	佐藤征夫	定夜17	細谷マキ	成田龍一	定夜14	横山武	高橋芳之	定夜12	和田健治	富樫平	定夜10	富樫悦子	定夜9	石栗トシ	定夜6	鈴木博	立花俊道	高橋優夫	菅原勝夫	定昼11	木ノ瀬淳子	寺澤正夫	定昼10	渡邊遊太	長谷部琉空	田中新星	近藤彩愛	全76	高橋直弘	齋藤伊吹	全74		
富樫宗弘	富樫茂美	定朝8	横井善弘	板垣藤生	定朝7	相馬利一	小田與惣次	定朝5	佐藤久美子	全山22	齋藤三和子	全山5	板垣一男	全山3	菅原三善	全山2	平田敏	板垣則子	全山1	加藤悦子	定山23	高山フミ子	定山19	渡邊隆	中島秀雄	定山7	佐藤昭司	大竹憲一	定山1	近藤良一	定夜32	本間かよ	定夜29	鈴木竹二	定夜27	富樫百合子	定夜25	竜田節子	定夜21		
伊代野省三	山口八良	定関11	渡辺鉄也	定関8	佐藤弘美	全荒3	磯部栄	定荒21	長谷部良作	定荒18	加藤健吾	定荒15	河俣忠昭	押切清巳	定岩23	佐藤勇作	定岩10	三浦徹	全朝9	本間政行	全朝5	中村三枝子	全朝2	阿部みか子	定朝24	太田嘉代子	渡辺修	小田良雄	定朝19	太田千賀	定朝17	宮村貞一	定朝16	小田博	定朝14	田村信夫	定朝12	西村勝男	園部豊男	定朝11	

※広報部会で校正、チェックをいたしました
が、掲載内容に間違いがありましたら、ご容赦ください。

ありがとうございました

令和6年度卒
新入会員
113名
石山尚武
定関15
佐藤よい子
定関22

同窓会費納入と活動参加のお願い
同窓会の運営は皆様から納入頂きまして、同窓会年会費及び寄付金等ですべてを賄っております。会費納入者の固定化や少子高齢化の影響などにより運営資金減少の傾向にあります。これらの会費納入金は母校支援金、広報紙「同窓の訪れ」の発行、同窓会活動費、支部活動助成などに活用しております。
尚、本広報紙の発行部数は、約19,000部であり、全卒業生に発送しております。
今後とも母校、村上高等学校の更なる発展と活発な同窓会活動を行うため、同窓の方々の会費納入と同窓会活動への参加をお願い申し上げます。



にここに健康、気軽に相談

大町薬局

駅前店 村上市田端町3-38
☎ 53-6530

いい店 村上市飯野3丁目16-11
☎ 62-7711

木村なな子(42回生) 鈴木さわり(43回生)

公認会計士 税理士

鈴木信嘉

(26回生)

〒958-0836
新潟県村上市羽黒口10番31号
TEL (0254) 52-3326(代)
FAX (0254) 52-7554
E-mail: suzukics@iwafune.ne.jp
HP: http://www.suzuki-accountingoffice.jp

TKC・O.A経理コンサルタント事務所
新潟事業承継パートナー・グループ
認定経営革新等支援機関

税理士法人 **村山会計グループ**

関東信越税理士会・村上支部・副支部長
関東信越税理士会・新潟県支部連合会・税務支援対策部

代表社員 **村山 誠**
税理士 (17回生)

事務所: 〒958-0853 新潟県村上市山居町2-5-26
TEL (0254) 53-2620(代) FAX (0254) 52-7433
FAX (0254) 53-5213 (所長室)
URL: https://murayamakaikaikei.tkcncf.com/

令和6年度 村上高等学校同窓会決算書（見込み）

(令和6年8月1日から令和7年7月31日)

収入の部

科 目	決算額	内 訳
会 費	3,949,913	入会金 2,000円×113名 初年度会費 2,000円×113名 1口 2,000円 5口以上の高額納入者あり のべ 1,615名
雑 入	8,811	名簿販売、受取利息
寄 付 金	9,000	全17回3年4組
前年度繰越金	6,366,242	確定決算による繰越金
計	10,333,966	

支出の部

科 目	決算額	内 訳
会 議 費	111,750	総会・理事会・部会 支部総会
事 務 費	1,548,426	
人 件 費	1,265,410	出張旅費 給与 事務補助費(臨時)
福 利 厚 生 費	3,322	労働保険
消 耗 品 費	17,137	コピー用紙等事務用品
通 信 費	234,357	インターネット代・郵送料・電話代・ハガキ代 ホームページサーバー使用料 ホームページ更新管理料
会費徴収事務費	28,200	「会費納入」通知料 149回 支部会費徴収還元金、新入会員手数料 等
事 業 費	2,989,332	
広 報 部	2,846,832	「同窓の訪れ 第74号」 令和6年8月発行費用 ・印刷梱包費 19,000部・送料・新聞広告
行 事 部	142,500	総会・懇親会関係(懇親会景品・当番幹事費用)
助 成 費	200,000	
生徒会活動補助	0	
支 部 助 成 費	200,000	支部活動助成 新潟・仙台・関川・関西・関東・新発田 各支部
積 立 金	300,000	記念事業積立金
雑 費	17,054	卒業アルバム(保存用)、振込手数料 他
予 備 費	0	
合 計	5,166,562	

收支 差引 $10,333,966 - 5,166,562 = 5,167,404$

令和5年度まで積立金	1,200,000
現金 普通預金	0
令和6年度積立金	300,000
合 計	1,500,000

郵 便 普 通	1,033,618
信 金 普 通	3,909,034
第四北越普通	102,796
現 金	121,956
合 計	5,167,404

詳細はホームページをご覧ください

村上高等学校同窓会

检索



物故連絡・住所変更・氏名変更の場合は、振込用紙通信欄かメールにてご連絡ください。なお、物故連絡は基本的にご家族の方からお願いします。

また、各支部への連絡は事務局にお問い合わせください。

メールアドレス: murakou-dousoukai@outlook.jp



◀携帯・スマホからも
連絡できます！

7 7 7 6 6 6 5 5 5 5 4 3 3 3 3 3 3 2 2 2 2 全日制 1 1 併設
47 46 45 44 44 43 42 40 35 32 24 旧制中

丹	内山	安斎	中野	高橋	東海林	内山	鈴木	菅	青木	堀口	新野	富樫	田村	佐野	駒澤	小田	板垣	山本	倉崎	川村	小野	石田	田仲	中村	稲葉	佐藤	鷺尾	平山	瑜伽	鈴木	澁谷	竹内	永田
茂史	安蔵	静雄	素子	孝	宏志朗	忠	幸平	公夫	新一	一	格夫	次男	勝実	清麿	隆	正二	幸雄	鉄平	廣一	雄一	正彦	一成	昭司	春次	栄一	正男	徹生	微生	伸寿	敏雄	康男	金吉	

20 20 20 19 18 18 18 17 17 17 17 17 16 16 16 15 14 14 14 13 12 12 11 11 11 11 11 10 10 10 10 10 10 9 8 8 8 8 8 8 7 7

中林 宏平
 本保 富夫
 飯島 士郎
 鈴木 英夫
 近藤 衛
 長谷川龍作
 宮坂 久子
 宮部 博明
 青山 輝夫
 岸野 洋
 木村 興平
 高柴 和雄
 丹田公之助
 本部 庄平
 川上 進
 近 勝英
 富田 幸子
 永田 良平
 渡辺 道子
 鳴瀬 和夫
 渡辺 サエ
 瀧澤 弘司
 亀田 清明
 鳥屋 靖
 加藤 洋一
 尾形 洸
 白井美子
 本間 稔
 川島 也子
 桑山 悦子
 斎藤 憲夫
 吉田 連
 木ノ瀬和弘
 佐藤 芳雄
 竹内 聡
 青山 早苗
 大滝 典雄
 木ノ瀬新一
 竹石 敏昭

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
(事務局にお知らせいただいた方です)

物故會員名



編集後記

早いもので『同窓の訪れ』の編集に携わって4年目となりました。その間に会議等で使用した奨学会館はなくなり、同窓会事務局も村高の校舎内に移転するなどいろいろなことが変化しています。

『同窓の訪れ』も毎号変化しており、より良い誌面になるよう広報部会で何度も集まり意見をだし合い作り上げています。今号の『同窓の訪れ』はいかがでしたでしょうか。

最後にもう一つ、大きな変化として今年の同窓会総会・懇親会は土曜日から日曜日開催となります。昨年は開催時間などが変わり、今年は曜日の変更、と変化が続きますが、世の中の変化や諸事情に合わせ柔軟に新たな試みをするのが継続に繋がっていくのかと思います。そのよくなことで今年は日曜日の開催となりますので、お間違えのないよう、よろしくお願いします。

広報部会員

村山 優子・渡邊 公雄・山田 宗春
寺門美紀子・渡邊 昌・高橋 睦美
高原むつみ・長郷 直文・山田 裕美
松田 洋平

定夜16	定夜8	定夜6	定夜6	定昼7	定昼4	定昼3	定時制・全日制分科	42	27	27	27	26	25	24	23	23	23	21	21	20	
大場ムツ子	伊藤政市	本間一彦	岡本泰彦	井上豊治	鍋倉友二	細野久蔵	津軽正晴	山口真紀子	森信子	大島正弘	菅原吉朝	石田誠	横井敬	中野康夫	高橋光顕	菅原清	志村優	横山則夫	小林雅博	小川幸子	田中香枝子

定夜17伊藤栄一	定夜17佐藤征夫	定夜23志田三和子	定夜30池田正行	定朝5佐藤太伊吉	定朝6菅原光男	定朝8阿部達夫	定朝8大田兵三	定朝8佐藤一	定朝14園部孝史	定朝14山賀圭治	定朝20並木久枝	定朝24笠川薫	全朝5高橋昌士	定岩9高柳イチ子	定岩10木村敏夫	定岩20富樫真津子	定岩22金澤恒雄	定荒11鶴巻矩夫	全荒1堀川博子	全荒7丹内佳久	定関8山口八良	定関14和田鉄雄
----------	----------	-----------	----------	----------	---------	---------	---------	--------	----------	----------	----------	---------	---------	----------	----------	-----------	----------	----------	---------	---------	---------	----------